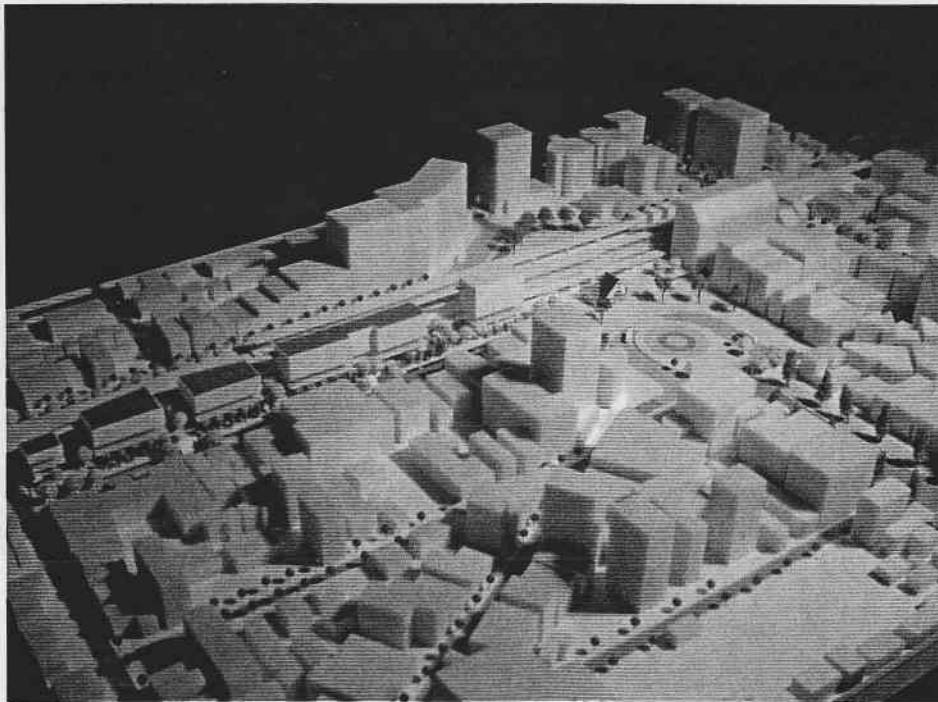


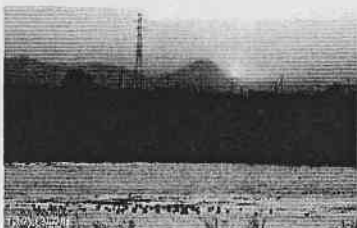
～国立のまちづくりを未来につなげよう～



□くにたちだからできる駅周辺まちづくり計画 ～国立らしさの創出～

- | | |
|--|--------------------------|
| 1. 国立のまちの特徴の視点から | まちがあり、自然があり・・・ |
| 2. まちづくりの歴史の視点から | わが国初の理想の学園都市構想を踏まえ・・・ |
| 3. 景観の視点から | 大正末期の田園都市の理想を踏まえ・・・ |
| 4. 文化、教育、福祉の視点から | 文教地区、一橋大学、しょうがい者センター、・・・ |
| 5. 他市にない条件 | |
| ・ 公共用地+高架(上下を含め)+総研線(日本ではじめて試みられるJRとの一体的活用と立体的活用) | |
| ・ 市文化財の旧駅舎+日本でおそらく初めての駅前広場(歴史遺産を未来の駅創りとまちづくりの共通言語とする。駅文化の発信) | |
| ・ 3・4・10号線に連続する高架下(新しい発想の展開) | |

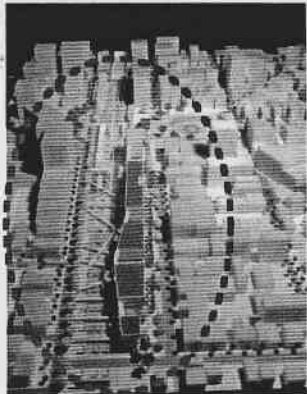
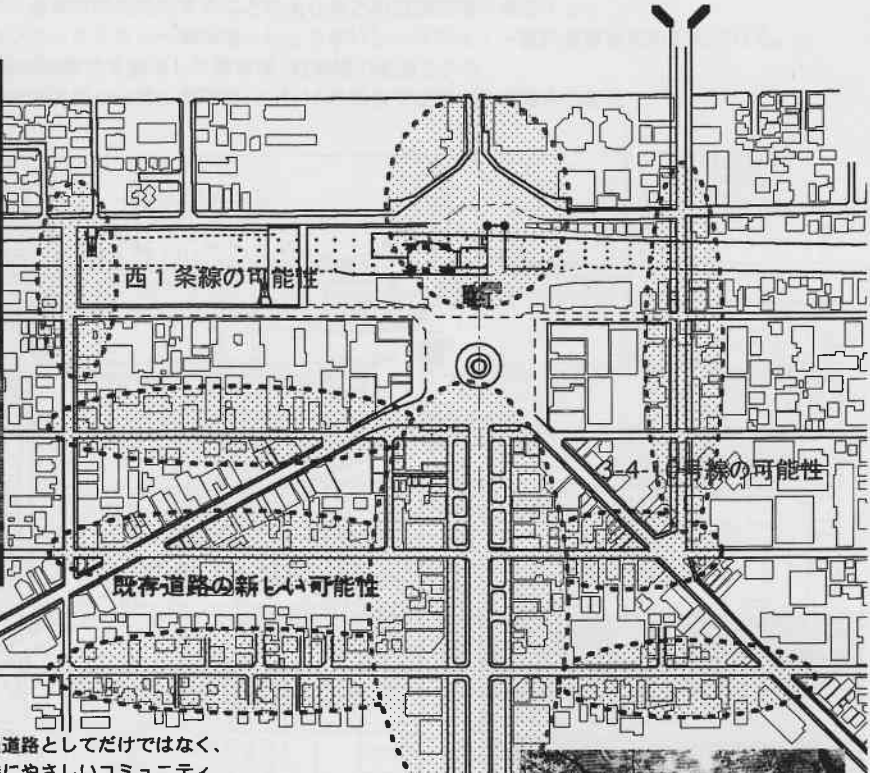
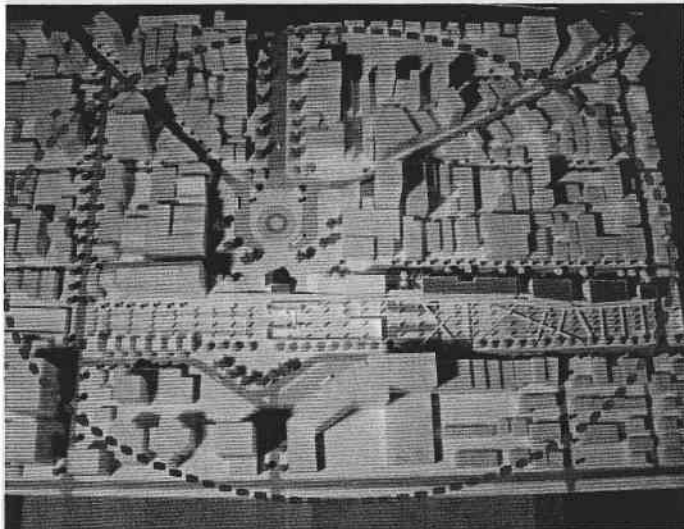
□JRにも魅力的で利点のあるまちづくり計画 ～エキナカからエキチカ(近)、そして駅文化の発信へ～



1.交通体系の問題（南北一体化の道路整備）

ポイント 歩行者中心のまちの創造 駅周辺商圈の起爆要因

- ①広域交通処理で駅周辺を歩行者優先のそして回遊性のある地域とする。⇒・・・3-4-10号線の整備（単なる通過道路ではなく特色あるコミュニティ道路として整備し、東側高架下空間、北口商店街への連続性をデザイン展開する。
- ②タクシー及び一般送迎車の西口高架下に整備⇒・・・南北駅前広場の完全なる歩行者空間とする。
- ③東西高架下に自転車置場、駐車場の確保 ⇒・・・駅周辺全体で処理することとする。
- ④南北交通コンセプトをもって東西方向道路の新たな個性あるコミュニティ道路として整備
- ⑤関係者の協働による多様な監理主体の調整・創造

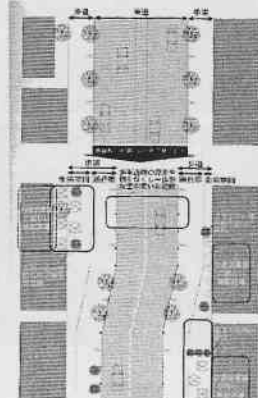


通過道路としてだけでなく、
近隣にやさしいコミュニティ
道路として創造

- 1.広域交通処理の考え方
2.多様な監理主体の調整
- チェックポイント
- ・一体的に考えられているか・文化の発信・子供の視点・学生の視点・来訪者の視点
 - ・商業者の視点・JRの視点・経済の視点（ハード+ソフト）・歴史性の視点・新しさの視点
 - ・エコの視点・他駅との差別化・東京都の視点・市民の視点・・・



幅員16m、2車線の可能性を追求（歩道4m）駅前を歩行者優先空間にするための意味とあらたなる道路空間からのコミュニティの創造



2つの新設道路ができることによりそれぞれそれをつなぐ既存道路に新たな個性のある道空間、歩行者優先のコミュニティ空間の創造が生まれてくる。



利活用を念頭においた公共空間整備イメージ

2.西側空間（公共用地+高架下+総研線） 南口公共用地+高架下+総研線跡地活用

ポイント 文化を発信する拠点（文化教育の起点）+高架下の協働による新しい活用+北地域の新しい顔創り

①公共用地の積極的活用-1（低層部分）

賑わいの創造（国立らしさの創出・JRと協働してエキナカからエキチカ（近）の創造）

- ・地元商店の積極的参加・・・国立まちなか商店のパイロットショップ⇒まちへ誘導
- ・地元大学の積極的参加・・・起業プログラムの実践⇒実験ショップ
- ・地元市民（個人・NPO等）の積極的参加・・・さまざまなプログラムの創造

②公共用地の積極的活用-2（中層部分）

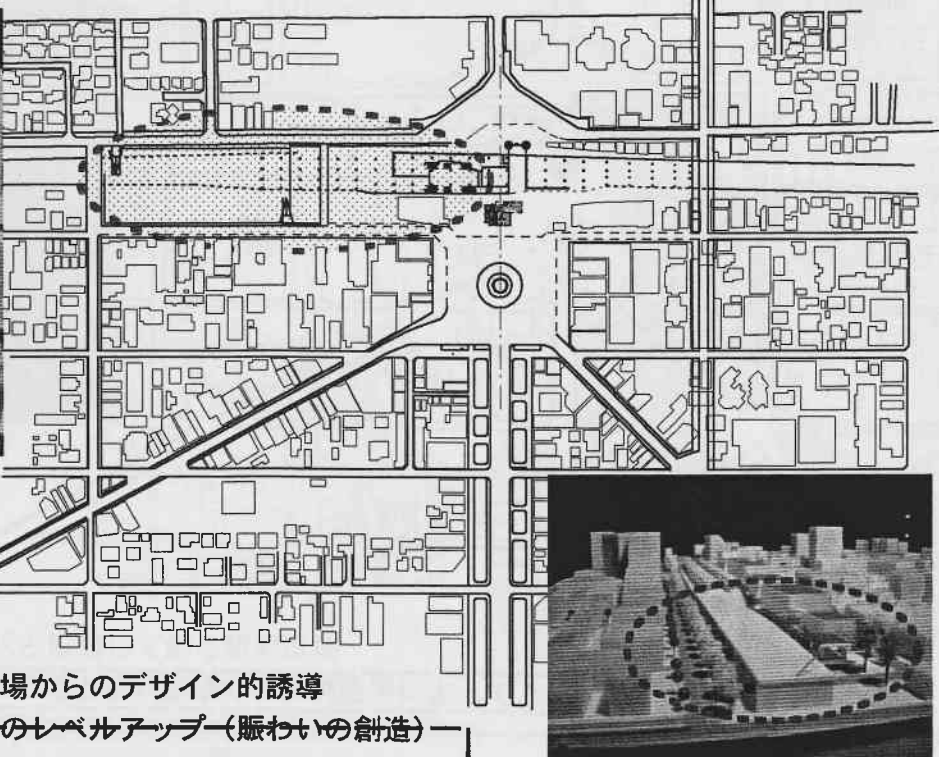
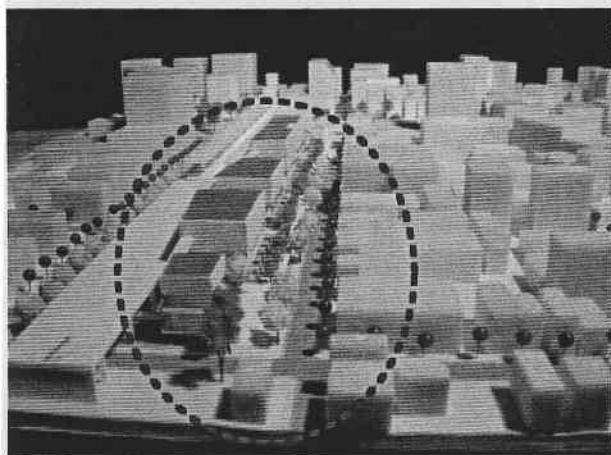
敷地の形態を考慮し、大規模ではなく適度なボリュームとし、かつ風と光りが通り抜ける分棟方式とする。

- ・文化施設および教育機関の誘致など（新発想の図書館、地元大学とネットワークする教育産業等）
- ⇒単なる誘致ではなく、地元商店、地元大学、市民とネットワークを生み出すことを前提とする。
- ・国のまちづくり交付金等補助を活用することによりJRとの協調開発を創造する。

③①と②によりおのずと西口の開設が考えられ、かつ駅機能とあいまったタクシー乗降場・しょうがいしゃ車寄せ・一般送迎車寄せの創出される。

④公共用地+高架下空間を積極的に活用することにより機能性および利便性を重視した駐車場+駐輪場の創造される。

⑤総研線跡地を利用した北側地域の新しい地域の顔創り⇒鉄道総合研究所から北口商店街+3-4-10号線まで連続する桜並木の創造



駅前広場からのデザインの誘導

場所性のレベルアップ（賑わいの創造）

チェックポイント

- ・一体的に考えられているか・文化の発信・子供の視点・学生の視点・来訪者の視点
- ・商業者の視点・JRの視点・経済の視点（ハード+ソフト）・歴史性の視点・新しさの視点
- ・エコの視点・他駅との差別化・東京都の視点・市民の視点・・・

北桜通りの誕生

ソフトデザインの基、賑わい空間の創出

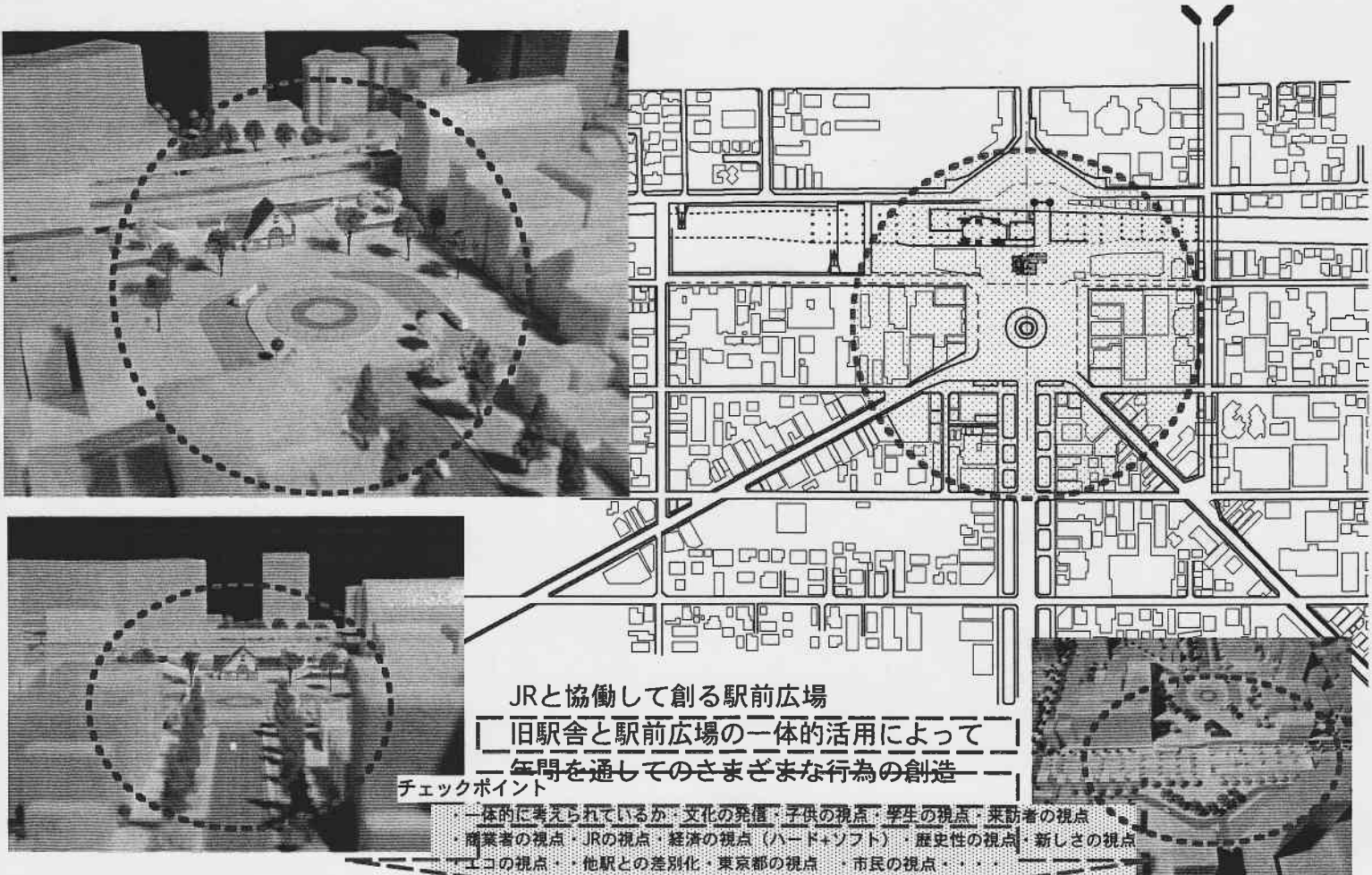


道路空間との連続性

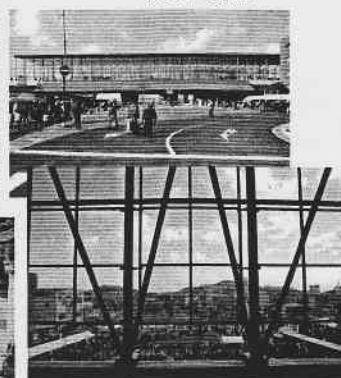
3.南北駅前広場(円形公園+旧駅舎+自由通路+北口広場) 国立駅前広場の整備

ポイント 駅とまちがつながる。

- ①旧駅舎の復原と円形公園を含めた南北駅前広場の再生により、まちづくりの核としての駅空間が創造される。⇒・・・駅からはじまるまちづくり
- ②国立市とJRとの協働⇒・・・まちづくり交付金等を利用しお互いにメリットがあるようにする
- ③南口駅前広場は公共交通のみとし歩行者優先の広場として整備 ⇒・・・1年を通じてさまざまな催し物が可能になる空間の誕生
- ④新駅プラットフォームからはまちを一望できる構造とし、まさしくまちと一体となった駅創りを実践する。
- ⑤旧駅舎のまち案内所・市出張施設等の公共的利用と駅前広場を含めた商業空間としての利用方法を積極的に探る。⇒・・・JR+国立市の協働
- ⑥旧駅舎の活用についてさまざまなソフトを創る。



駅からまちが、まちから駅が・・・



公共交通と一体となった駅前広場



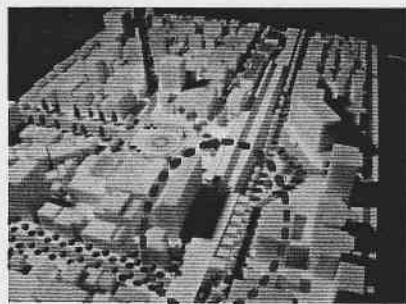
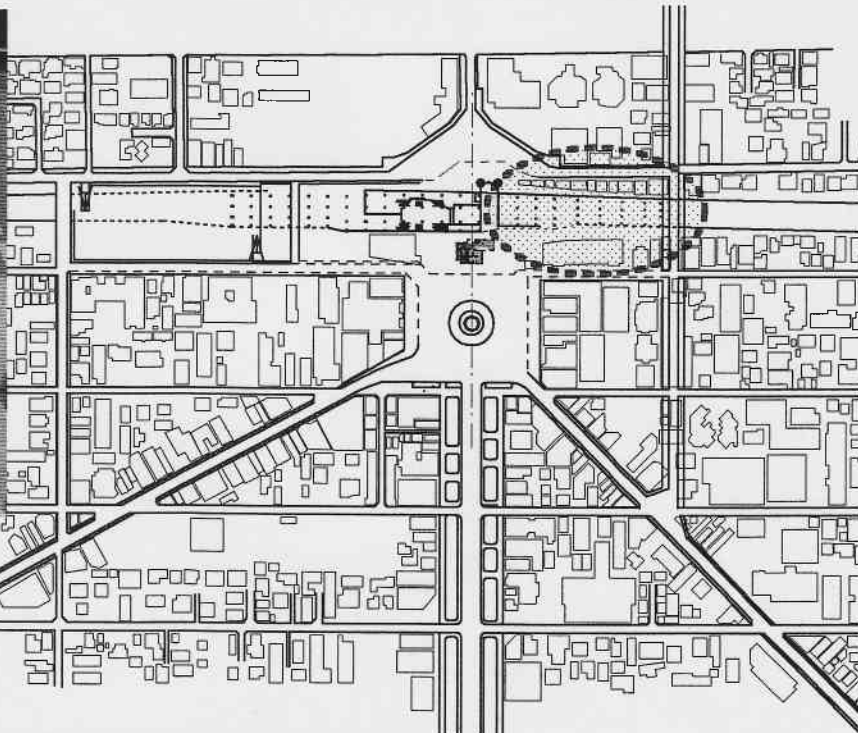
年間を通してさまざまな催しの開催



4. 東側空間（北口商店街+高架下+マンション裏空地+3-4-10号線の可能性）

ポイント 北口商店街の新たな可能性と東側高架下空間の連続性

- ①北口商店街からのJR高架下空間へのアプローチの創造・・・従来の閉鎖された高架下空間ではなく、積極的にまちと繋がる高架下空間の創造を市と商店街とJRと一緒に考えて想像する。
- ・賑わいの創造（国立らしさの創出・JRと協働してエキナカからエキチカ（近）の創造）
 - ・地元商店の積極的参加・・・歩道等整備と合わせ、JRの高架下利用形態と連動した取組み
- ②3-4-10号線からの東側高架下及び北口商店街への・・・新たに新設される3-4-10号線（コミュニティ道路）からの東側高架下空間への積極的なアプローチの創造することにより、駅機能空間への利便性を高める。および東側高架下空間の利用形態を拡大する。
- ・マンション裏空地の積極的利用・・・東側自転車置場
 - ・国のまちづくり交付金等補助を活用することによりJRとの協調開発を創造する。



北口商店街+JR高架下+南側空地の一体化
3-4-10号線の連続性

チェックポイント

- ・一体的に考えられているか・文化の発信・子供の視点・学生の視点・来訪者の視点
- ・商業者の視点・JRの視点・経済の視点（ハード+ソフト）・歴史性の視点・新しさの視点
- ・エコの視点・他駅との差別化・東京都の視点・市民の視点・・・

北口商店街より高架下空間にアプローチイメージ



魅力的、個性的な店舗展開



賑わいの創出



歩道空間の充実と北口商店街と高架下空間への連続性

